

和光市内循環バス運行見直し案

和光市
令和元年7月

1. 和光市内循環バスの現状

(1)循環バスの概要と目的

和光市内循環バス（以下「循環バス」という）は平成5年2月に運行を開始し、その後数回の運行見直しが行われ、平成28年4月から現在のルート及びダイヤにて運行されています。

循環バス運行の目的は、①公共施設への交通の確保、②交通不便地域の解消、③高齢者の外出機会の創出であり、これまでの運行改正等に際しても上記3つの目的を前提として検討がされてきました。

(2)循環バスの利用状況

過去3年間の利用状況は以下のとおりです。

	南コース	北コース	中央コース	合計
平成28年度	64,082人	60,213人	42,934人	167,229人
平成29年度	65,907人	61,800人	43,801人	171,508人
平成30年度	67,870人	60,415人	47,478人	175,763人

現在の運行形態が開始された平成28年度から昨年、平成30年度までの3年間で、利用者数は約2%の微増となっています。コース別に見てみると、南コースと中央コースが毎年若干の増加傾向にあることが見て取れます。

一方、北コースについては平成29年度から30年度にかけては減少していますが、平成28年からの2年間ではほぼ横ばいであるといえます。

2. 運行計画改正方針

(1)検討の方針

今回の見直しに際しては、これまでの運行形態や運行経費を大きく変えることなく、昨年度実施した調査等※の結果や日頃から頂く要望、東武バスとの協議等により方針を作成しています。今後、パブリックコメントにより集約した意見を参考に東武バスによる試走を経て、最終的な運行計画へとつなげます。

※調査等：今回の計画策定にあたり実施した調査は以下の2つです。

- ①OD調査（バス利用者の乗車及び降車バス停、乗車目的を調査）
- ②市民アンケート調査（無作為抽出による2000人対象）

※上記調査にて吸い上げきれなかった意見や要望を、本件パブリックコメントにより更に集約したいと考えています。

(2)バス停の取扱いについて

調査によりバス停ごとの利用者数が確認されました。(調査結果は別項)
利用者数が特に少ないバス停についてはコース設定に際し、往路(復路)
のみの片側停車や、右回り(左回り)のみの停車等の対応を検討します。

3. 各コースの乗車状況調査

前述した調査により確認された、各コースの乗降者数及び目的については以下のとおりです。なお、記載に際して乗降者数が多いことが確実である「和光市駅南口」「和光市役所」は除外してカウントしています。

(1)北コース

①乗降者数

▼乗降者数が多いバス停(上位3箇所)

- 1.赤池 2.図書館前 3.新倉氷川神社

▼乗降者数が少ないバス停(下位3箇所)

- 1.下里 2.金泉寺前、野川公園入口(同数)

②外出の目的

▼平日：1.通勤 2.公共施設の利用 3.買い物

▼土日：1.買い物 2.私事 3.公共施設の利用

(2)中央コース

(2)-1 左回り

①乗降者数

▼乗降者数が多いバス停(上位3箇所)

- 1.本町小学校 2.下新倉氷川神社 3.城山

▼乗降者数が少ないバス停(下位3箇所)

- 1.稻荷神社下 2.白子小学校入口 3.中央公民館、南市場

②外出の目的

▼平日：1.通勤 2.私事 3.公共施設の利用

▼土日：1.買い物 2.私事 3.公共施設の利用

(2)-2 右回り

①乗降者数

▼乗降者数が多いバス停(上位4箇所)※1

- 1.埼玉病院 2.北原小学校入口 3.白子コミセン、本町小学校

※1：3番目は同数のため、4箇所の記載としています。

▼乗降者数が少ないバス停(下位4箇所)※2

- 1.大和橋 2.南市場、稻荷神社下、吹上コミセン

※2：2番目で既に4箇所となったため、3番目の記載は省略します。

②外出の目的

- ▼平日：1.買物 2.通院 3.通勤・公共施設の利用
- ▼土日：1.買物 2.私事 3.通院

(3)南コース

①乗降者数

- ▼乗降者数が多いバス停（上位3箇所）
1.二軒新田 2.図書館前 3.西大和団地
- ▼乗降者数が少ないバス停（下位3箇所）
1.越後山 2.南大和団地、第四小学校

②外出の目的

- ▼平日：1.公共施設の利用 2.買物 3.私事
- ▼土曜：1.私事 2.買物 3.公共施設の利用
- ▼日曜：1.買物 2.私事 3.公共施設の利用

4. 改正内容案の概要

上記の方針や調査結果を元に各コースの改正計画（方針）を下記の通り作成しました。また、参考図として別紙に路線図（案）を作成しております。なお、ダイヤについてはコース確定後に試走を要することから方針のみ記載します。

(1)改正計画について

①北コース

- ▼和光北インター地域土地区画整理地区内のルートを追加
和光北インター地域の区画整理が完了し、区域内に公園や民間施設等が完成したことから、同区域内にコースとバス停を追加します。
- ▼赤池でのヘアピンカーブの廃止
これまで赤池から新倉氷川神社に向かうため急カーブを経由していましたが、北インターを経由することにより、これが解消されます。
- ▼新倉ロータリーバス停を駅北口通りに移設
新倉ロータリーを駅北口通りに移設します。これにより、駅北口エリアやいなげやへのアクセスを向上させます。
- ▼アグリパーク入口、新倉郵便局、金泉寺前の停車回数削減
上記バス停については利用者数が少ないとから、これまで往復で一回ずつ停車しましたが、今後はそれぞれ一度の停車とします。

②中央コース

▼第1便を和光市駅への通勤便に変更

通勤利用者が多い割に利用者数〇のバス停も多いという特徴から、停車するバス停を絞ることで和光市駅までの所要時間短縮を目指します。

▼南市場、稻荷神社下、吹上コミセン下の停車回数削減

上記バス停については利用者数が少ないとから、これまで往復で一回ずつ停車しましたが、今後はそれぞれ一度の停車とします。

▼白子三丁目中央土地区画整理地区内にバス停を設置

区画整理が進み公共施設や民間商業施設の設置が予定されていることから、同地区内に停留所を設置します。

③南コース

▼和光市役所から南方面への直通運転の実施

これまで市役所から和光市駅方面を経由して南方面へ向かっていましたが、市役所から直接南方面への運行とします。所要時間短縮のほか、市役所での乗り継ぎにより、総合福祉会館や埼玉病院へのアクセス向上を目指します。

▼越後山土地区画整理地区内でのルート変更

越後山南～越後山橋入口間のルートを変更します。これまでのルートは鋭角の曲がり角があり、運行上の課題となっていました。なお、この変更により越後山南停留所が若干移動します。

▼第四小学校バス停を諏訪原団地前へ移設

第四小学校のバス停については埼玉病院から特に近く、また、利用者数も多くないことから、これまで要望を頂いていた諏訪原団地前へと移設します。

(2)ダイヤについて

通勤利用の多い便については和光市駅到着時間が大きく変わることのないよう調整します。また、コースに変更が生じる場合も、コース全体の所要時間が大きく増加しないよう調整します。

その他、10時～11時頃の和光市駅発着便の増便や乗り継ぎを考慮したダイヤを検討していきます。

(3)料金について

現在の運賃は路線バスの初乗り料金を下回っている状況です。今後、消費増税による運賃改定の見込みがある中、現状維持の運賃では料金の乖離は更に大きくなります。民業圧迫を避けるため、循環バスについても値上げを検討する必要があります。

4. 今後の予定

▼令和元年9月中旬頃

パブリックコメントに対する検討結果の公表

▼令和元年11月頃

新コースの決定

▼令和2年4月1日

新計画にて運行開始（2～3月頃に新たな路線図等を公開します）